

「情報公開文書」

单施設研究用

研究課題名：区域切除に対する単孔式胸腔鏡下手術と多孔式胸腔鏡下手術の早期周術期アウトカムの比較

1. 研究の対象

2019年1月～2024年12月に当院で単孔式胸腔鏡下または多孔式胸腔鏡下手術で肺区域切除を受けられた方

2. 研究目的・方法

【目的】

手術の低侵襲化と技術の高度化が進み単孔式胸腔鏡下手術が拡がってきており、一方、早期肺癌に対する区域切除の肺葉切除に対する優位性が示され、区域切除術の手術件数も増加している。今回、単孔式胸腔鏡下手術と従来の多孔式胸腔鏡下手術で施行した区域切除症例の早期周術期アウトカムを比較し、それぞれのアプローチの留意点を検討する。

【方法】

2019年1月から2024年12月までに当科で施行した区域切除症例137例のうち単孔式胸腔鏡下手術で施行した49例と多孔式胸腔鏡下手術で施行した68例を対象とする。年齢、性別、切除区域、リンパ節郭清の有無、手術時間、出血量、術中トラブルの有無、術後ドレナージ期間、術後鎮痛薬の処方日数、肋間神経痛の有無、区域間切離に要したステープラ一本数、術後合併症の有無、術後CRP値を比較する。

3. 研究期間

(倫理審査委員会承認日)～2026年12月31日

4. 研究開始の予定日（研究のために情報を利用開始する予定日）

2025年12月9日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：病歴、年齢、性別、切除区域、リンパ節郭清の有無、手術時間、出血量、術中トラブルの有無、術後ドレナージ期間、術後鎮痛薬の処方日数、肋間神経痛の有無、区域間切離に要したステープラ一本数、術後合併症の有無、術後採血結果、カルテ番号、生年月日、等

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山47の1

TEL 022-384-3151（代表）（内線974）

研究責任者：

宮城県立がんセンター呼吸器外科 矢吹 皓